

2025年2月9日
2月第二主日礼拝式



教会福音讃美歌232番 「われらはキリストのもの」

- 1 キリストは 私の罪を背負(せお)うために
ただひとり 十字架にいのちを献(ささ)げられた
*** われらはキリストによって 愛のうちに建てられる
われらはキリストのもの 主はわれらのもの**
- 2 賜物(たまもの)は 仕え合うため与えられる
キリストのうるわしい姿(すがた)に近づくため (*)
- 3 みことばは 救いの御手(みて)のわざを示(しめ)す
人々を 永遠のいのちへ みちびくため (*)

「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主はみ座におられる 聖なるお方
イエスの愛を受けて 賛美をささげよう

主のりんざいの中で 大いなる勝利を
ほふられた小羊に 心からさげぼう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

【次】

「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主の聖なるみやに 今われらは行こう
聖徒(せいと)らとともに主の
御前(みまえ)であがめよう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

新聖歌190番 「静けき祈りの」

- 1 静けき祈りの 時はいと楽し
悩みある世(よ)より われを呼びいだし
父の大前(おおまえ)に すべての求めを
携(たずさ)え至(いた)りて つぶさに告げしむ
- 2 静けき祈りの 時はいと楽し
さまよい出(い)でたる わが魂(たま)を救い
危うき道より 伴(ともな)い歸りて
試(こころ)むる者の 罾(わな)を逃(のが)れしむ
- 3 静けき祈りの 時はいと楽し
そびゆるピスガの 山の高嶺(たかね)より
ふるさと眺めて 昇りゆく日まで 慰めを与え 喜びを満たす
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌311番 「いかに恐るべき」

1 いかに恐るべき ことありとも

御翼(みつばさ)のかけは 安らかなり

* 愛の神は いかなる時にも

頼るなが身 保護したまわん

2 骨折り疲れて 沈(しず)むときも

道に危(あや)うきの ひそむ時も 【*】

3 必要ことごと 備えられて

願いごとすべて 受け入れられん 【*】

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン